

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2024年4月号

森のおくりもの4

NO.391 The Gift from Woods

ガイドウォーク中のハプニング！ニホンカモシカとの遭遇



今月からガイドウォーク(自然観察会)は午後も行われ、1日2回開催となります。レンジャー(自然解説員)が毎週日曜日に実施している人気のイベントでは、カタクリなど多くの花が咲き始めるこの時期、紹介しきれないトピックスの中から旬の話題をご案内いたします。新体制となりますが、楽しい時間を過ごしていただけるよう努めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。 【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

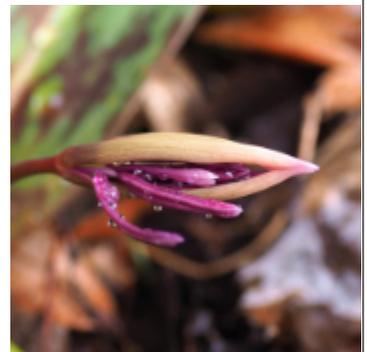
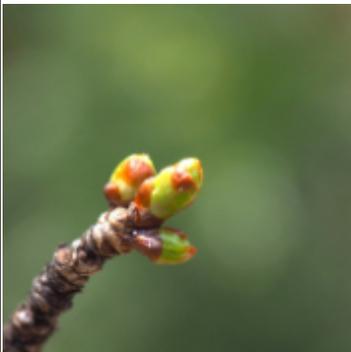
『矛盾(むじゅん)』

この冬は、ゴールデンウィーク頃の暖かさの日もあり、雪がなくてスキー場も営業できなくなるほどでした。そうなると春になるのが早いのかと思いきや、3月は雪も降り冬が盛り返しました。寒暖差が激しく、暖かい日と寒い日が極端でした。

人はわがままなもので、寒ければ早く暖かくなってほしいと願い、冬らしくない暖かさに心配します。よく、雪が多い年は除雪作業や事故が発生して大変なので雪はいらないといわれ、雪が少ない年はレジャー産業や水不足などへの影響が危惧されるので雪が積もらないと大変だといえます。このように整合性がないことを「矛盾」しているといえます。「前に言ったことと後に言ったことが一致しないこと。理屈として二つの事柄のつじつまが合わないこと」です。これは中国の故事で、「どんな盾も突き通す矛」と「どんな矛も防ぐ盾」を売っていた男に、客が「その矛でその盾を突いたらどうなるのか」と問われ、返答できなかったという話が由来の故事成語です。

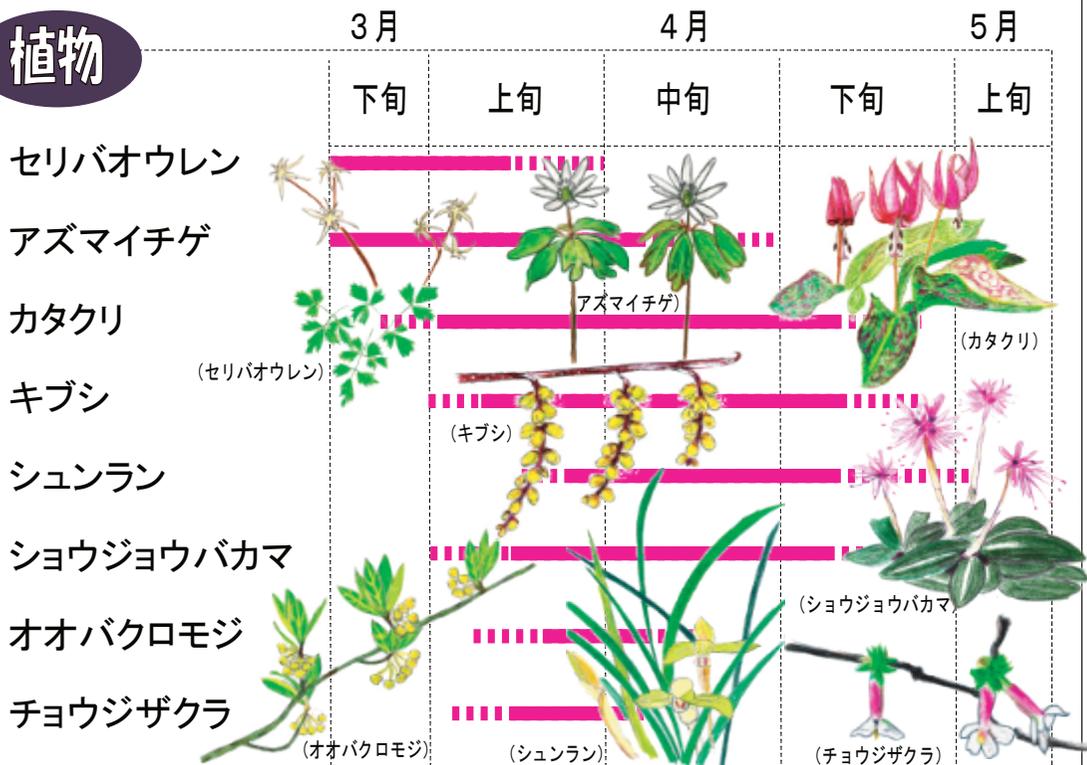
植物は、成長を抑制する作用のアブシシン酸と成長を促す働きがあるジベレリンという化学物質の植物ホルモンを持っています。抑制と促進の働き、この矛と盾のように役割が相反するホルモンが対決したらどうなるのでしょうか。春は芽吹きや開花の時期ですが、そのしくみにこの対決が関係しています。簡単に説明すると、芽はアブシシン酸によってジベレリンの働きが抑制され休眠状態になっています。一定期間の寒さにさらされるとアブシシン酸の働きが鈍っていき、ジベレリンの作用で休眠が破られ成長が始まります。一定期間の寒さとは、冬の期間と一致しています。葉や花が寒さでダメにならないよう、冬が過ぎてから成長する工夫です。もしも冬に気温が下がらなければ、まだ冬が終わっていないと判断されアブシシン酸の働きが鈍らず、休眠が解けないことになるのかもしれませんが。桜前線でおなじみのソメイヨシノは、冬の寒さに十分当たっていないと咲かないということが知られています。例えば南の鹿児島よりも北の広島の方が開花が早いのですが、このためなのではと思われます。

毎年芽吹きの時期が楽しみですが、去年は早過ぎて見逃しました。今季は暖冬でしたが、ある程度寒い日もあったので通常通りなのか、今回の植物ホルモンの対決が気になります。また身勝手に思ってしまいますが、寒いのも暑いのもほどほどで、ちょうどいいのが一番ですね。 【レンジャー：新田隆一】



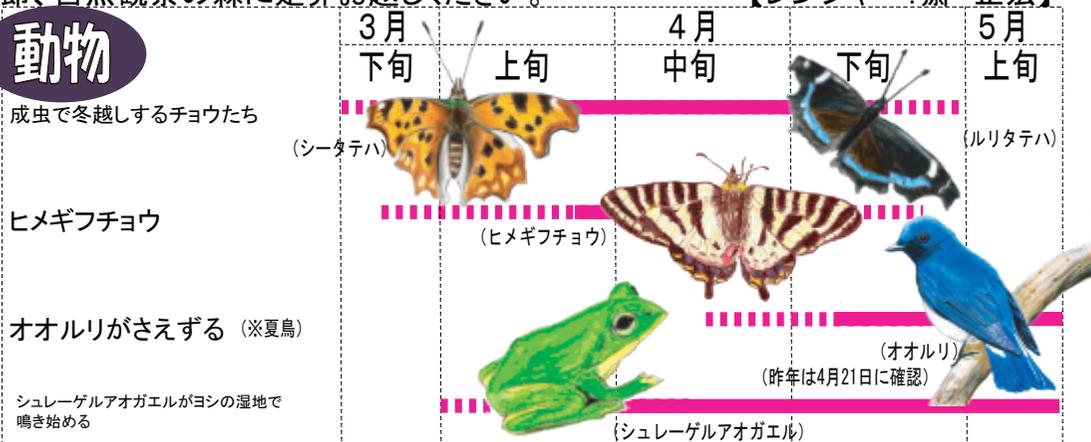
4月の生物ごよみ

植物



カタクリの開花が『蝶の野原』で3月16日に確認されました。昨年と比べ、5日ほど遅い開花になります。カタクリは多年草で早春に花を咲かせますが、一粒の種から花を咲かせるまで約7～8年ほどの年月がかかります。またよく観察してみると花をつけている株には2枚の葉がついています。大きな葉でも1枚のものは花をつけません。そんなカタクリの花は4月末ぐらいまで楽しめるので、このよい季節、自然観察の森に是非お越しください。【レンジャー：齋 正宏】

動物



※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが3月～10月の間になる。
 ※多年草 同じ株から翌年以降も花を咲かせる植物のこと。また年を重ねるごとに大きい株に成長する特徴がある。

森の「あれこれ」



「観察の森の竜たち」



写真①



写真②



写真③

例年その干支にちなんだ生きものを取り上げたりしています。

今年が辰年、竜(龍)ということで今回はリンドウの仲間について。え!? と思われるかもしれませんがリンドウは漢字で「竜胆」、根茎を乾燥させたものは漢方で使われ、熊の胆よりも苦みが強く、まるで“竜の胆(きも)”みたいに苦い、ということでした名前だとか。いつか舐めてみたいものです。花は観察の森でも10月の中旬頃から見られます(写真①)。もう少し早く8月頃にツルリンドウの花が咲きます(写真②)。その名の通りツル性のリンドウですが花よりもその実がインパクト大です(写真③)! この赤い実も森で見られ冬枯れの時期よく目立ちます。

さて、4月の中旬から、つまり今頃出逢えるリンドウの仲間がいます。その名はフデリンドウ。高さ5~10cm。気を付けないと見落としてしまうほど。左下の写真は3月24日でまだ固いつぼみでした(写真④)が、開いた花は春を思わせる淡いブルーがとても清楚できれいです。大きな株にはまるで花束のように花がつき見とれるほど。一度開いた花でも天気が悪いと蕾の状態に閉じて筆の穂先のような形になり、フデリンドウの名前はそんなところから来ているようです(写真⑥)。この花を足元で見つけると、いよいよ春が来た、と感じます。足元の小さな花なのでくれぐれも踏まないようにお願いします。

【レンジャー：木田秀幸】



写真④



写真⑤



写真⑥

森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*~*)

春の日差しがすっかり森を包み「春の妖精」と言われるカタクリやイチゲなどがあちこちで咲き誇っています。カタクリの花にやってきたのは「春の女神」と言われるヒメギフチョウです。3月下旬から4月上旬にかけて羽化し、およそ2週間ほどその美しい姿で私たちの目を楽しませてくれます。カタクリの花などと同様に5月にはその姿を消し、産卵に成功すればその卵から孵化した幼虫は6月頃にさなぎになり来年の羽化までずっと眠り続けます。この時期にしか見られない植物と同じように「スプリングエフェメラル(春の儂い命、春の妖精)と呼ばれることもあります。 ……(^ ^)



さて私事ではありますが、この3月で職務を終えることになりました。2019年の9月からつたないガイドウォークなどお付き合いいただきましたこと心より感謝申し上げます。日々の巡回は、センチメンタル巡回と呼び名を変えて旅立ちの日まで風景を心に焼き付けていきます。思いでありすぎです！ ……(^ ^) 【レンジャー：菅原 幸彦】

4月のイベント&お知らせ

◆「おはよう野鳥かんさつ」

- 【日時】4月13日(土) 6:30~8:00
- 【募集】15名 講師の解説を聞きながら野鳥を観察します
- 【持ち物】双眼鏡、飲み物、帽子、かっぱ、防寒具、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】4月6日(土)午前9時より電話受付(先着)

◆「春の蕃山ウォーキング」

- 【日時】4月20日(土) 9:30~15:30
- 【募集】18歳以上 20名 講師の解説を聞きながら蕃山の森を歩きます
- 【持ち物】昼食、飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】往復はがきに氏名・住所・電話・年齢を明記し4月11日必着(抽選)

◆「春の森の自然あそび」

- 【日時】4月27日(土) 10:00~12:00
- 【募集】小学生以上の親子 10名 草花であそんで春の森を楽しみます
- 【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】4月7日(日)午前9時より電話受付(先着)

◆「はじめてバードウォッチング」

- 【日時】4月29日(月・祝) 10:00~11:50
- 【募集】小学生以上 15名 初心者向けのバードウォッチングです
- 【持ち物】双眼鏡、飲み物、帽子、かっぱ、歩きやすい服装と靴
- 【申込み】4月9日(火)午前9時より電話受付(先着)



ガイドウォーク 毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日: 7日, 14日, 21日, 28日
時間: 10:00~11:30, 13:30~15:00
※4月~11月は午前と午後実施します

休館日



1日, 8日, 15日, 22日, 30日
毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合翌平日が休館

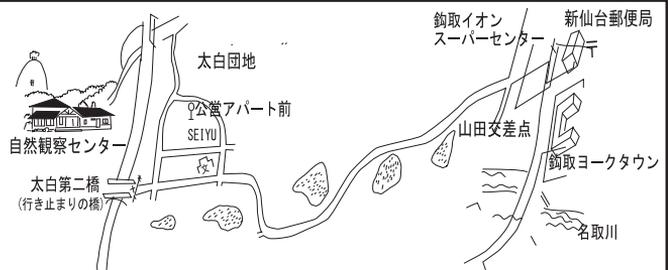
観察の森へのアクセス

宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」
※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター